



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に
市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

北茨城市として7月には 東電に対して賠償請求

鈴木やす子議員の一般質問から

2012年第2回
定例6月議会

6月11日におこなわれた市議会本会議での鈴木やす子議員の質問の要旨を紹介します。

「脱原発」への 豊田市長の姿勢

〔鈴木やす子議員〕「脱原発をめざす首長会議」が、静岡県湖西市の三上元市長

や茨城県東海村の村上達也村長などのよびかけで4月28日に設立された。住民の生命と財産を守るのが首長の責務であり、原発に依存しない地域づくりをしようという趣旨が掲げられている。



すもう大会

第34回 子どもすもう大会（6月10日、精華小学校）

これに、発足時70首長のお一人として名を連ねた豊田稔市長の思いをつかがう。

〔豊田稔市長〕脱原発の趣旨には賛同する。当市においても、水産業者の喜び、観光業者の喜び、政府が「安全神話」を作り上げ、それを関係自治体も容認してきた。首長として責任を感じ、お詫びしなければならぬ

データの広報と 民有地の除染

〔鈴木議員〕放射能対策プラザでのデータの傾向と広報についてうかがう。

〔渡辺栄司環境産業部長〕4月以降の新基準値100ベクレルでは、シイタケのほとんどが超えているほか、タケノコ、センマイ、ワラビ、タラの芽などの山菜でも基準値を超えているものがある。

測定結果は、毎週、市のホームページや放射能対策プラザに掲載している。市

と思う。神話が崩壊した以上は脱原発が正しい。ただし、即廃炉では日本経済が立ち行かないと思うので、安全が担保できればいい。しかし新たな原発は作らないのは当然だし、再生エネルギーの開発に取り組む必要がある。

〔鈴木議員〕原子力発電は被ばく労働を前提としたものであり、廃棄物の処理もできないことを考えれば、私は即廃炉を願うが、豊田市長が首長の責任としてお詫びもし、しっかり脱原発に声をあげたことに敬意を表したい。

〔鈴木議員〕放射能対策プラザでのデータの傾向と広報についてうかがう。土壌検査や役所前でのデータの発表も早急に取り組んでほしい。

〔鈴木議員〕民有地の除染についてはいかがか。

〔豊田市長〕0.23μシーベルトの重点地域のほか、民有地についても必要ならば除染をしなければいけない。検討したい。

精神的な損害も 賠償の対象に

〔鈴木議員〕この6月に茨城県でも昨年度分の賠償請求をした。北茨城市ではどうか。

〔鈴木市長〕精神的苦痛を金額にするのはむずかしいが、首長として抗議したことや諸団体から抗議されたことについてもきっちり賠償請求に反映させたいと考えている。

地場産業と 自然エネルギー

〔鈴木議員〕放射能汚染という現実のもとで、地場産業の再生には特別の手立てが必要ではないか。

〔渡辺環境産業部長〕稲作

「脱原発をめざす首長会議」

<目的>

脱原発首長会議（以下「当会」）は住民の生命・財産を守る首長の責務を自覚し、安全な社会を実現するため原子力発電所をなくすことを目的とする。

当会は、脱原発社会をめざす基礎自治体の長（元職も含む）で組織する。

脱原発社会のために以下の方向性をめざす。

- (1) 新しい原発はつぐらぬ
- (2) できるだけ早期に原発をゼロにする

<取り組みのテーマ>

- (1) 原発の実態を把握する（福島原発事故の実態を把握、原価、核燃料サイクル、最終処分場等）
- (2) 原発ゼロに至るまでのプログラムを明確にする
- (3) 地域での再生可能なエネルギーを推進する具体策を作る
- (4) 世界との連携を通じて情報を共有する
- (5) 子どもや食品など家庭生活に直結する問題について積極的に支援を行う
- (6) 福島への支援を行う

* 設立総会の決議では、政府の新エネルギー基本計画で「原発ゼロ」を決定するよう要求しており、関西電力大飯原発3、4号機（福井県おおい町）はじめ原発の再稼働では「拙速に陥らず、自治体・住民の合意形成を求め」としています。

では「安全米シール」の作成やPRに努め、水産業では港湾整備をすすめる一方で「復興委員会」もたちあげた。観光では関係機関との連携をつよめ広報をしていきたい。

〔豊田市長〕水産業では、包装のまま測定できる機器を導入する。うまく稼働するなら、これを農産物の測定にも活用していきたい。

〔鈴木議員〕地元自然資源の活用や地元製造業者の連携、市民との協働など、再生可能エネルギーの開発・促進に研究グループを立ち上げてはどうか。

〔豊田市長〕小水力発電などを調査・検討中。バイオマスの研究なども他自治体ともすすめていきたい。